

令和7年中の火災・救急・救助概要について

火災概要

令和7年の火災件数は15件で、前年に比べ3件の増加となりました。
建物火災は12件で、前年に比べ3件の増加。そのうち住宅火災については7件で前年に比べ4件増加しました。また、火災による死傷者は6名（死者1名、負傷者5名）で、いずれも建物火災において発生しています。
出火原因としては「たばこ」「ストーブ」「電気機器」「煙突・煙道」などとなっており、火災損害額については151,653千円で、前年に比べ105,965千円増加しています。

区分		年	令和7年	令和6年	増減
火災件数	建物火災		12(住宅7)	9(住宅3)	3(住宅4)
	林野火災			1	▲ 1
	車両火災		1	2	▲ 1
	船舶火災				0
	航空機火災				0
	その他火災		2		2
	合計		15	12	3
焼損棟数			21	12	9
り災世帯数			16	5	11
面焼積損	建物床面積（㎡）		2,184	669	1,515
	建物表面積（㎡）		25	97	▲ 72
	林野（a）			4	▲ 4
損火害額（千円）別	建物	建物	91,253	23,652	67,601
		収容物	60,110	20,536	39,574
	林野				0
	車両		269	1,500	▲ 1,231
	その他		21		21
	合計		151,653	45,688	105,965
死者数			1		1
負傷者数			5	3	2
焼火損元程建物	全焼		4	2	2
	半焼		2	1	1
	部分焼		2	2	0
	ぼや		4	4	0

救急概要

令和7年の救急出動件数は5,468件で、前年に比べ119件、2.2%の上昇となりました。
1日あたりの平均件数は約15件でした。
5年前の同時期と比較すると、1,741件、46.7%の増加となりました。全体の搬送者のうち、69.7%が65歳以上の高齢者でした。搬送人員は4,774人で、小松市民の約22人に1人が利用したことになり、搬送した傷病者のうち、43.0%が軽症者でした。

区分 \ 年		令和7年	令和6年	増減
救急出動件数	急病	3,417	3,429	▲ 12
	交通事故	304	294	10
	一般負傷	1,040	917	123
	転院搬送	533	505	28
	その他	174	204	▲ 30
	合計	5,468	5,349	119
救急搬送人員	急病	2,945	3,033	▲ 88
	交通事故	256	241	15
	一般負傷	952	835	117
	転院搬送	531	504	27
	その他	90	127	▲ 37
	合計	4,774	4,740	34
傷病搬送者年齢別	高齢者	3,328	3,304	24
	成人	1,143	1,113	30
	少年	127	130	▲ 3
	乳幼児	174	192	▲ 18
	新生児	2	1	1
傷病搬送程度別	死亡	123	160	▲ 37
	重症	429	449	▲ 20
	中等症	2,170	2,020	150
	軽症	2,052	2,111	▲ 59

救助概要

令和7年の救助出動件数は58件で、前年に比べ2件減少しています。
出動の約半数は交通事故によるものです。
救助活動件数は45件で、前年に比べ5件増加。救助人員は45人で、前年に比べ2名増加しました。

区分 \ 年		令和7年	令和6年	増減
出動件数		58	60	▲ 2
活動件数		45	40	5
救助人員		45	43	2